

# ゆずり葉だより 第18号



## 会長の窓

令和元年10月発行

この秋は台風15号、19号それに集中豪雨、大変な状況となりましたね。

地球環境の変化により、これからはこのような自然災害が多発するとの予測も出されています。「その時在宅保健師は何ができるのか」災害の度に考えさせられます。今度、11月18日に、市町村保健活動連絡協議会主催による「災害時の保健活動」についての研修会が予定されておりますので期待しています。

さて、令和元年度の事業ですが、昨年度からの事業を引き続き進めている所です。「輝く宝事業」については、8月の会員研修で報告書作成に携わっての想いを語り、集まった“宝”を展示して皆様にみて頂きました。今後は長野の「保健婦資料館」に贈る資料を選別し今年度中に送る予定です。

「いきいき百歳体操」については、「健康秋田いきいきアクション大賞」に応募、7月に秋田県健康づくり県民運動推進協議会総会の場において優秀賞を受賞しました。また、秋田市下北手から要請があり、11月7日、下北手コミュニティセンターにおいてデモンストレーションを実施することにしております。「きれいな空気をありがとう」事業は、県民運動として広げていくことにし、今年も会員皆様にご協力をお願いしている所です。

年度途中からの新たな事業として、秋田市社会福祉協議会から依頼があり、「飯島老人いこいの家」における健康相談を保健師3人で担当しております。

そして、由利本荘地区の皆様から多大なるご協力を頂いた会員交流会は、10月23日～24日、またとないお天気に恵まれ、鳥海山麓でグリーンシャワーを浴びて身も心もリフレッシュできました。矢島の佐々木テル保健師さんの顕彰碑を拝ませて頂き、草創期の情熱的な活動に感動していたこともあり感慨深い一コマとなりました。詳しくは別頁をご覧ください。(令和元年10月29日記)

## 「健康秋田いきいきアクション大賞」の優秀賞を受賞しました！！

ゆずり葉の会が取組んでいる「いきいき百歳体操」の活動事例を応募し、書類審査を経て選考後4団体の中に残りました。7月29日(月)ビューホテルにて佐藤会長がプレゼンテーションを行い、最終選考の結果、惜しくも最優秀賞を逃しましたが、優秀賞を受賞できたことは大きな誇りです。



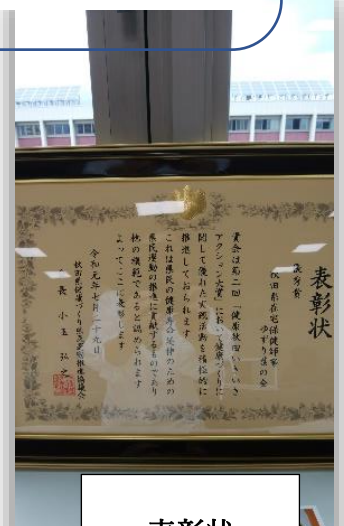
プレゼン中



賞状受賞



知事・会長  
他の3団体と



表彰状

## 令和元年度 会員研修会の様子

令和元年8月23日（金）午前10時 ～ 午後3時まで14名の参加で開催しました。

### 会長挨拶

今年度は、ゆずり葉の会活動37年目にあたる。国の動きとしては保健と介護予防事業の一体化を推進している中で、本県でも広域連合が中心となり、五城目町、大潟村をモデルとして今年度より訪問指導、健康教育を本会に委託して事業を開始する計画。9月8日には、詳細について打ち合わせ会議を開催予定。⇒11月から実施予定

### DVD鑑賞

#### 「1000年後の未来へ～3・11保健師たちの証言～」

鑑賞後の感想を参加者1名ずつ語ってもらった。災害時の保健活動をこのDVDから学ぶことが出来た。他県では県と契約を締結して災害時に派遣する方法をとっている県もある。災害時の活動の参考になると思った・・・等。

### \*1 「埋もれているものを輝く宝にしよう事業」 物品展示



### \*2 「埋もれているものを輝く宝にしよう事業」に思いを寄せて

#### 保健師活動の草創期にふれて（佐藤潤子）

活動に対する真摯な姿勢と情熱。課題解決方法、住民への関わり合い、記録の大切さを感じた。

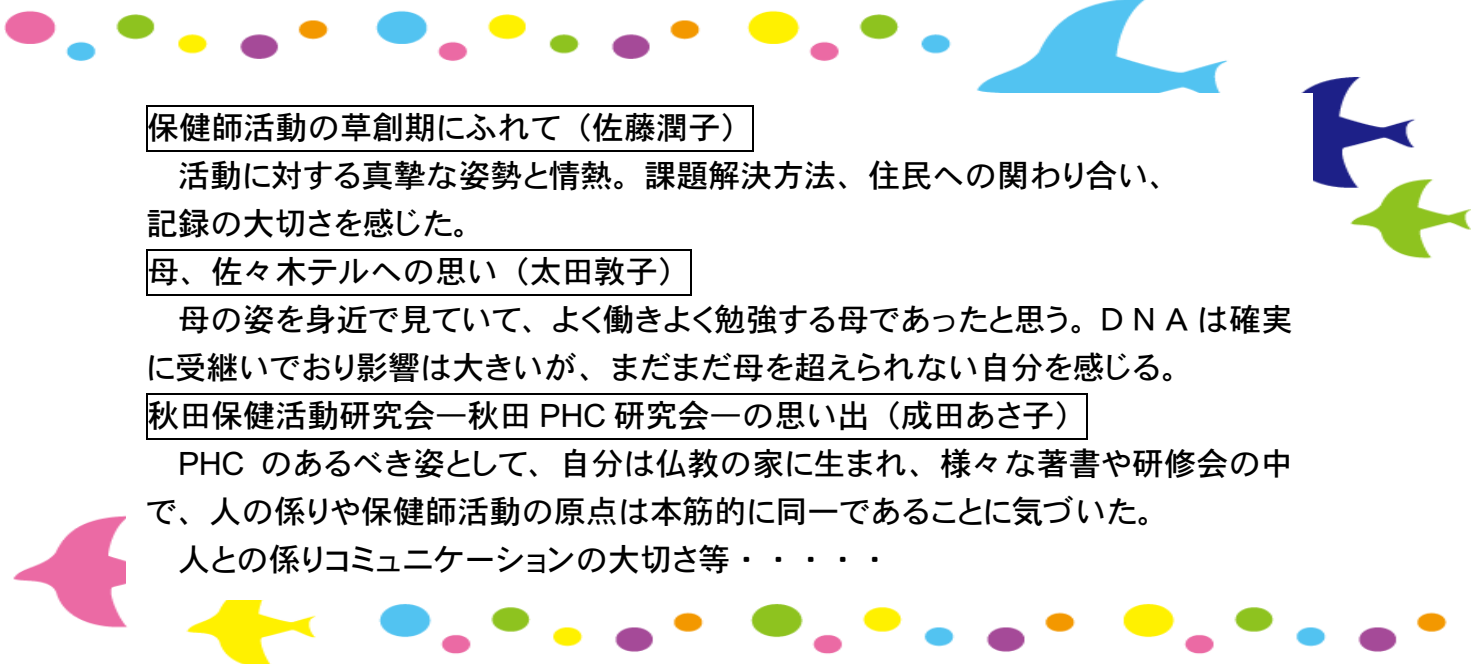
#### 母、佐々木テルへの思い（太田敦子）

母の姿を身近で見ている、よく働きよく勉強する母であったと思う。DNAは確実に受継いでおり影響は大きい、まだまだ母を超えられない自分を感じる。

#### 秋田保健活動研究会—秋田PHC研究会—の思い出（成田あさ子）

PHCのあるべき姿として、自分は仏教の家に生まれ、様々な著書や研修会の中で、人の係りや保健師活動の原点は本筋的に同一であることに気づいた。

人との係りコミュニケーションの大切さ等・・・・・・・・



### \* 3 ガッコ茶っこで秋田県の保健活動を振り返る

現職の保健師として本田由喜子さん（秋田中央委保健所）が参加してくれた。

「現職は県も市町村もマンパワー不足で、現在やっている業務に振り回されている。県や国から指示された事項をこなすことで精いっぱい。地域に出っていくことすら難しくなっているのが現状。連携体制が必要と思っているが業務が分散化されて連携が上手く機能しないのが現状である。その中で統括保健師は設置されているが、役割が明確になっていないことも課題である。各地域振興局で保健師研修会も行われているので紹介できる内容については、ゆずり葉の会にも参加案内をしたいと思う。」等があった。

会員からは、“保健師としてまだやれることはある。地域に出向きやれることをやりたい、自分をもう一度振り返る機会になった、「パワー集団」であるゆずり葉の会の一員として幸せ”等々感想が交わされました。

様々な研修会が開催され参加しました。

日時	研修名	内容
7月24日～ 9月1日	健康づくり地域マスター基礎研修	県内4カ所で開催。減塩・野菜摂取促進、運動、禁煙の普及のための研修
9月11日	医療費分析研修会	ジェネリック医薬品使用促進（シェア率80%）
10月17日	特定保健指導実践者育成研修会	講義①保健指導者が知っておくべきエビデンス②参加者目線で作る保健指導 グループワーク 事例検討
10月21日	糖尿病患者向け保健指導者育成研修	療養指導概論、食事療法、生活指導、GW
7月・11月	被災者支援関係研修	より良い支援のあり方
10月29日	国保・後期高齢者ヘルスサポート事業研修会	生活習慣病等の重症化予防と介護予防の取り組みを一体的に実施するための研修
11月18日	秋田県市町村保健活動連絡協議会研修会	保健師の災害時における対応力の育成

### “保健と福祉の一体化事業”に「ゆずり葉の会も」参加します

健康長寿延伸のために、高齢者の生活習慣病予防対策（糖尿病重症化予防等）と介護予防対策（フレイル、低栄養予防）が各市町村で一体的に（健康対策部門と介護予防部門との一体的実施）実施されます。（法律）

今年度は県内の先行事例として、五城目町、大潟村が実施することになり、これにゆずり葉の会も委託を受けて参加します。受託内容は両町村とも、KDBシステム（国保データベース）により抽出された健康状態不明者（医療と健診未受診者、75才以上）に家庭訪問をまもなく開始します。

協力いただきたい会員にはお声かけをしますので、その節はどうぞ宜しくお願いします。





## 会員交流会

由利本荘にかほ地区の河西幹事さんが中心となりコースを決めてくれました。名幹事に感謝!!

最初のコースは①「鳥海山木のおもちゃ美術館」。旧鮎川小学校の校舎をそのまま活用した博物館は、学芸員でもある会員の正木みえ子さんのご厚意で入館し、案内していただきました。さわって気持ちよく、目には優しい木々のぬくもりを体感したり、様々な木で作られた道具や子ども達の隠れ家を見学したりと童心に返って楽しみました。正木さんありがとう!!

次の法体の滝に向かう途中では、矢島町川辺の故佐々木テル保健婦の顕彰碑に立ち寄りました。

②法体の滝は水量豊富で今が盛りの紅葉と、真っ青な空とのコントラストが素晴らしく感激しました。

昼食をとり次は祓川5合目を目指します。鳥海山の登山口である祓川では展望台に立ち寄り、秋田の山々や大仙市街地までも眺望でき、③雄大な鳥海山をバックに集合写真をパチリ。ブラボー!

その後④土田牧場でジャージーソフトを食べ、買い物をして宿泊地のさんねむ温泉到着。(おすすめの宿です。)アワビなどのおいしいご馳走をいただき、だべって、温泉につかり就寝。

翌日の第一コースは⑤中島台・獅子ヶ鼻湿原の散策。紅葉した広大なブナ林の中を“大王”に会うため歩を進めます。途中途中での河西さんの山野草の説明を聞きながら進むと、山の守り神のように鎮座する奇形ブナ群最大の巨木と出会えます。

最後は⑥鳥海山ろく元滝伏流水。清らかに美しく流れる伏流水は苔の緑とマッチし、マイナスイオンを沢山浴びさせてくれ、雑念を洗い流すのに充分でした。いつまでも眺めていたい景色です。

皆さん大満足の大人旅を満喫したことでしょ。また来年! お疲れ様でした。

佐々木テル保健婦顕彰碑前



法体の滝



祓川展望台



あがりこ大王前



元滝伏流水

## オトナタビ 鳥海まるごとエンジョイ編

秋晴れの気持ちの良い10月23日・24日の二日間、参加会員18名は由利本荘市に集合し、バスで出発。昨年の内陸線“安の滝”に続き2回目の開催です



ゆずり葉の会は元気に活動を続けています。様々なことをお伝えしたくて、今号は盛り沢山の内容になってしまい読みにくくなったことをお許しください。またね〜 (敦)